

(別紙4(2))

事業所名 グループホームすもも

目標達成計画

作成日: 令和 5年 1 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	生活上の安全の為の施錠であることはわかるが、玄関の施錠は身体拘束にあたるので、開錠できる時間を作る工夫をしてはいかがか。	ご家族より安全の為玄関の施錠はしてほしいとの意見も出ているため、解錠時間を決める。外に出たいとの要望があったときは解錠する。	職員の配置状況で解錠・施錠の時間を決め実践する。	6ヶ月
2	54 (20)	居室にある排泄用品は、職員のケアのし易さを優先させるのではなく、利用者の尊厳を守る為、また、プライドを損ねないよう、見えない工夫をしてはいかがか。	排泄用品を置くときは収納ケースに入れる。タオルなどで排泄用品と分らないように覆う。	袋ごと置いてある排泄用品は1日の必要量が入る程度の蓋つきケース(中が見えない)に入れ収納する	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。